


Saffire 6 USB

User Guide

日本語マニュアル ver.1.0


Focusrite®

Focusrite Saffire 6 USB ユーザーガイド

Focusrite Saffire 6 USB をお買い求め頂きありがとうございます。本書では Saffire 6 USB の使用方法をガイド致します。

【SAFETY INSTRUCTIONS/ 安全のために】

本機を御使用になる前に、トラブルなく十分に性能を発揮できるよう、以下の説明をよくお読みください。

警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常な音がしたり、煙が出て変な臭いがしたときには本機の使用を直ちに中止し、販売店が弊社にご連絡下さい。
2. 本体内部には高電圧が発生する部分があり、危険ですから本体を絶対に開けないでください。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整修理は弊社に御依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けてください。

警告：次のような場所での使用は出来る限り慎んでください

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

電源ソース

本機は、USB ケーブルで接続したコンピューターから、バスパワーによる電源供給を受けることができます。市販の USB ハブなどをご使用の場合は、バスパワーの供給が受けられない場合がございます。その場合には、本機とコンピューターを直接接続して下さい。

取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないでください。

Getting Start Guide と梱包材について

同梱されているゲッティング・スタートガイドと梱包材は大切に保管しましょう。ゲッティング・スタートガイドの再発行は一切行っておりません。

サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合がございます。必ず本書に基づいた使用方法で使用して下さい。記載外の使用方法の使用に於いて万が一破損された場合、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行ってください。万が一負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。修理が必要な場合は、御購入先、もしくは弊社へご依頼ください。

目次

Saffire 6 USB の製品概要	3
必要動作環境	3
前面パネル	4
背面パネル	5
付属ソフトウェアのインストール	6
DAW ソフトウェアに本機を認識させる	7
DAW の入出力設定に本機の各チャンネルを割り振る	7
ハードウェアおよびソフトウェアの使用例 (1～3)	8
スペシフィックेशन	10
本書における著作・商標などに関して	11
Focusrite 製品の品質保証について	11
修理が必要な場合	11
ドライバーに関するご注意	11
付属ソフトウェアに関するご注意	11
ユーザー登録とカスタマー・サポート窓口	12

Saffire 6 USB の製品概要

Saffire 6 USB は多彩な入力（マイク/ライン/楽器）と、MIDI を備えた USB オーディオ・インターフェースです。
各入出力へのルーティングはご使用の DAW ソフトウェアから行うことができ、Saffire 6 USB を介して音の入出力が行われます。

パッケージ内容

- インストール CD（インストーラー、Focusrite VST/AU プラグイン 収録） ×1 枚
- Xcite+ Pack DVD（付属バンドル・ソフトウェア） ×1 枚
- USB ケーブル ×1 本
- ゴム足 ×4
- 製品保証書
- Getting Start Guide（ゲッティング・スタートガイド：日本語）

前面パネル



前面パネルには各入力チャンネルとゲイン・コントロールがあります。

1. コンボ入力端子 1 ~ 2

入力するマイクや楽器のケーブルを接続します。
マイク/ライン/楽器接続 (XLR / TRS / TS 対応)

2. GAIN /ゲイン・コントロール・ノブ

コンボ入力端子に接続したマイクや楽器の入力音量を設定します。

3. O/L (OVER LOAD) , Sig (Signal) LED

チャンネル 1 ~ 2 の入力音量を表示します。
・O/L LED = 入力音量が大き過ぎて、クリップした際に反応します。
・Sig LED = -18dBFS 以上の音量が入力された際に反応します。

4. 48V /ファンタム電源スイッチ, LED

コンデンサーマイクを使用する場合にはスイッチをオンにしてください。オンになると、LED が点灯します。

5. INST /楽器切替スイッチ

エレキギターなどを直接接続する場合にはスイッチをオンにして、ください。CD プレイヤーなどラインレベルの信号を接続する場合には、オフにしてください。

6. Pad / -10dB パッド・スイッチ

「O/L LED」が点灯するなど入力音量が大きい場合に使用して下さい。入力信号レベルを 10dB 下げることができます。

7. MIXER /バランス・ノブ

入力信号のダイレクト・モニタリング音と、コンピューターから再生されている音のバランスを調整します。
左に回すと、入力信号のダイレクト・モニタリング音が大きくなり、右に回すとコンピューターから再生される音が大きくなります。

8. Mono /モノラル・スイッチ

入力 1 のダイレクト・モニタリング音を左右のモニターから再生させたい場合には、このモノラル・スイッチをオンにしてください。モノラル・スイッチがオフの状態では、入力 1-2 のダイレクト・モニタリング音はそれぞれ左右のチャンネルから再生されます。

9. MONITOR /メイン・モニター・ノブ

出力 1-2 から出力される音量を調整します。ノブを右に回すほど、出力音量は大きくなります。

10. USB 動作確認 LED

コンピューターとの間の USB 接続が正常に確立されている場合に点灯します。点灯していない場合は、本機とコンピューターの接続が正常に確立されていないことを表します。

11. MIDI データ受信確認 LED

MIDI の鍵盤コントローラーなどを操作し MIDI データを受信した時、操作に連動して点灯します。

12. PHONES /ヘッドホン音量ノブ

接続しているヘッドホンへの出力音量を調節します。

13. O/P 3-4 /出力切替スイッチ

ヘッドホンから出力されるチャンネルを「出力 3-4」に切り替えます。※スイッチがオフの状態では、「出力 1-2」に割り当てられた音がヘッドホンから出力されます。

14. ヘッドホン出力用端子

ヘッドホン端子を接続します。1/4 インチ・ステレオプラグ用。



背面パネルには主に出力端子があります。

- 1. Kensington セキュリティー・ロック差し込み口**
ケンジントン社の盗難防止用ロックを接続することができます。
- 2. USB 1.1 接続端子**
コンピューターの USB 端子を接続します。USB1.1、USB2.0 の端子どちらにも接続できます。
- 3. Din5 MIDI 入出力端子**
MIDI キーボードや外部 MIDI 音源を使用する場合、ここに接続します。
- 4. 出力 1～4 用 RCA フォノ端子 (-10dBV)**
CD プレイヤーや DJ ミキサーなど RCA ピン端子の機器と接続する場合に、この端子を使用します。端子 1～2 には常時 TRS ジャック端子と同じ信号が流れています。また、端子 3～4 は前面パネルの「O/P 3-4」スイッチがオンになっている場合のみ、音が出力されます。
- 5. 出力 1～2 用 TRS ジャック端子 (+4dBV)**
TRS 端子を使用してモニター・スピーカーやミキサーなどと接続することができます。
※ TRS (バランス)、TS (アンバランス) どちらも使用可能

付属ソフトウェアのインストール

※注意！ 必ず Saffire 6 USB を接続する前に付属のディスクよりインストーラーを起動し、ドライバーのインストールを行って下さい。

※同梱のディスクに収録されているインストーラーが最新のバージョンではない場合があります。最新アップデート情報を定期的にチェックして頂くことをお勧め致します。最新版のインストーラーについては、随時弊社 WEB サイトでご案内しておりますので、下記 URL より「Focusrite Saffire 6 USB 製品ページ」をご参照ください。

<http://www.allaccess.co.jp>

Mac OS

1. インストール・ディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入してください。
2. ディスクの中身が表示されます。自動的に表示されない場合はファイnderよりディスクを選択してください。
3. インストーラー「Install Saffire 6 USB.pkg」のアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
4. 画面の指示に従ってインストールを行ってください。インストール内容を選択する画面では「ALL Focusrite USB Device」を選択します。
5. コンピューターを再起動してください。
6. Saffire 6 USB をコンピューターと接続してください。

インストール完了後、コンピューターの基本オーディオ出力は自動的に Saffire 6 USB に切り替わります。切り替わらない場合などには下記の手順でご確認ください。

システム環境設定 → サウンド

より詳細な設定が必要な場合

アプリケーション → ユーティリティ → オーディオ MIDI 設定

Windows

1. インストール・ディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入してください。
2. ディスクの中身が表示されます。自動的に表示されない場合はエクスプローラーよりディスクを選択してください。
3. インストーラー「Install Saffire 6 USB.exe」のアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
4. 画面の指示に従ってインストールを行ってください。インストール内容を選択する画面では「ALL Focusrite USB Device」を選択します。
5. コンピューターを再起動してください。
6. Saffire 6 USB をコンピューターと接続してください。

インストール完了後、コンピューターの基本オーディオ出力は自動的に Saffire 6 USB に切り替わります。切り替わらない場合などには下記の手順でご確認ください。

(Windows Vista の場合)

スタート → コントロールパネル → ハードウェアとサウンド → サウンド

(Windows XP の場合)

スタート → コントロールパネル → サウンドとオーディオ デバイス

Saffire 6 USB を接続する

※注意！ 必ず Saffire 6 USB を接続する前に、ドライバーのインストールが完了していることを確認してください。Saffire 6 USB の背面にある USB 端子とコンピューターの USB 端子を付属の USB ケーブルを使用して接続してください。Saffire 6 USB は USB1.1 デバイスですので、USB1.1 および USB2.0 対応の端子に接続して使用することができます。

DAW ソフトウェアに本機を認識させる

Saffire 6 USB は、Windows では ASIO または WDM、Macintosh では Core Audio を使用した DAW ソフトウェアに対応しています。DAW ソフトウェアは自動的に Saffire 6 USB に入出力設定を切り替ええないため、手動で切り替える必要があります。設定画面で Saffire 6 USB に設定してください。

入出力デバイスの設定方法に関しては、お持ちの DAW ソフトウェアのマニュアル等をご参照ください。

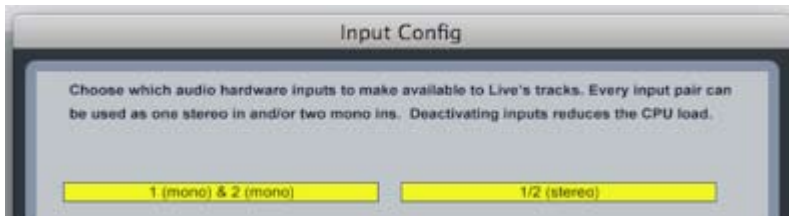


左記の画像は、同梱の Xcite+ Pack に収録されている Ableton Live での設定画面例です。

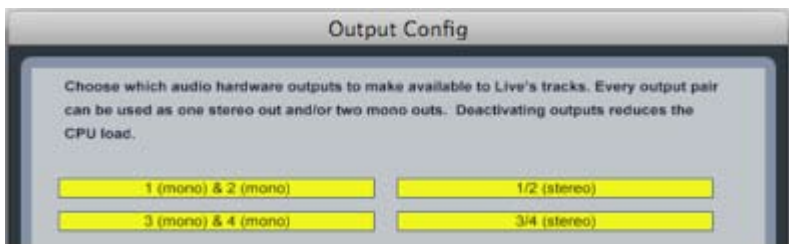
※ソフトウェアのバージョンの違いにより、写真と違いが発生する可能性があります。

DAW の入出力設定に本機の各チャンネルを割り振る

DAW ソフトウェア内で Saffire 6 USB が選択されると DAW 内のトラックの入出力一覧に入力 1～2 や出力 1～4 が表示され選択が可能になります。DAW ソフトウェアによっては各入出力を有効にしないと選択一覧に表示されない場合があります。



左記の画像は、同梱の Xcite+ Pack に収録されている Ableton Live での設定画面例です。



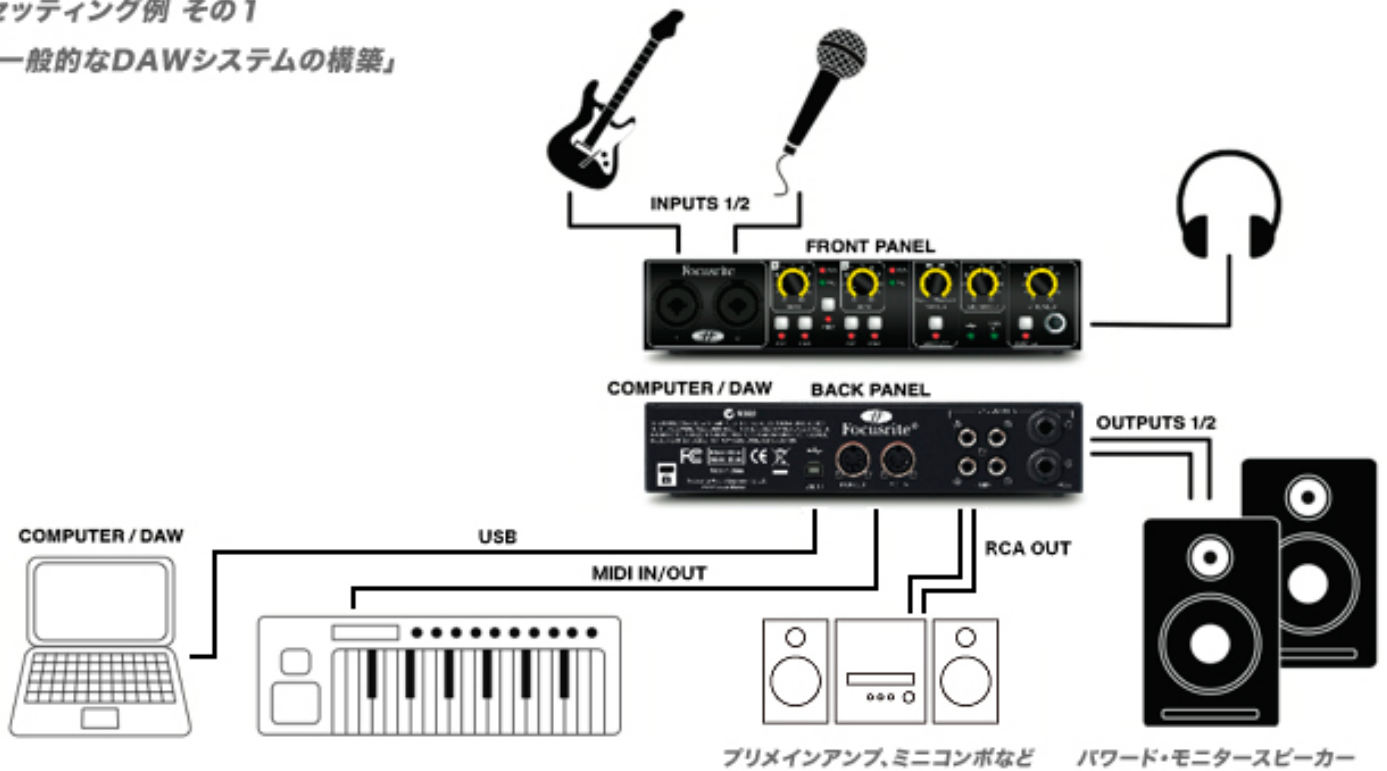
※ソフトウェアのバージョンの違いにより、写真と違いが発生する可能性があります。

ハードウェアおよびソフトウェアの使用例

Saffire 6 USB は様々なレコーディングやモニタリング環境に対応可能なインターフェースです。本項では主な接続例を紹介します。

セッティング例 その1

「一般的なDAWシステムの構築」

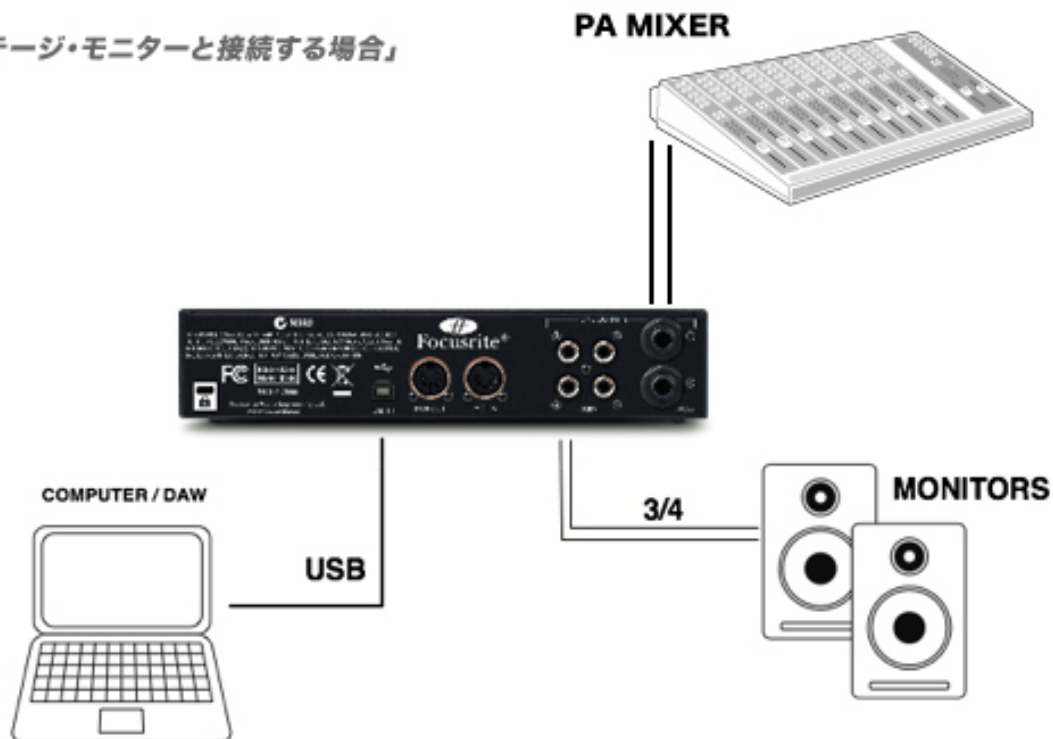


楽器の音をコンピューターに録音する際の代表的なセッティング例です。

録音したい楽器やマイクを入力1または入力2に接続します。接続された楽器の音はコンピューターで再生された音と共に、接続したスピーカーやヘッドフォンから聴くことができます。MIDIを使用して打ち込みを行う場合にはMIDIキーボードなどのコントローラーを接続して使用することも可能です。モニター出力には、アンプを内蔵した「パワー・モニタースピーカー」の他、RCAアウトプットを使用すれば、オーディオアンプやコンボなどで音を再生することも可能です。

セッティング例 その2

「ライブ/PAミキサーやステージ・モニターと接続する場合」



コンピューターから再生される音を PA ミキサーやステージ・モニターに送る場合のセッティング例です。

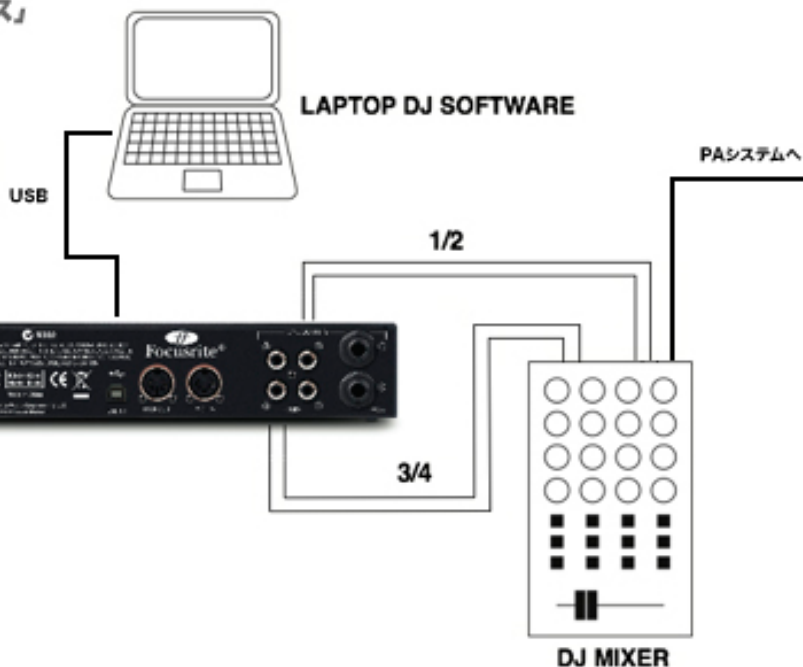
モニター・スピーカーを接続する場合、1/4 フォン端子（出力 1～2）、RCA フォノ端子（出力 1～4）のどちらも使用することができます。

ライン・レベルの信号を受けることができる機器であれば、出力 1/2 と 3/4 どちらも同様に接続し、使用することが可能です。

PA ミキサーなどに +4dB の信号を送りたい場合には、TRS バランス・ケーブルを使用して出力 1/2 から接続してください。

セッティング例 その3

「Ableton Live Lite と組合わせた DJ ユース」



DJ ミキサーに接続する場合のセッティング例です。

出力 1/2 を DJ ミキサーの 1/2 に、出力 3/4 を DJ ミキサーの 3/4 に接続し、出力された音に EQ やミキサー側のクロスフェーダーで操作した効果を与えることができます。

スペシフィケーション

- マイクフォン入力性能 (1~2)
周波数特性: 20Hz - 20kHz +/- 0.1 dB.
ゲイン幅: +12dB to +60dB
THD+N: 0.0025% (1kHz/20Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
ノイズ: EIN > -120dB
入力インピーダンス: 2k Ω
- ライン入力性能 (1~2)
周波数特性: 20Hz - 20kHz +/- 0.1dB.
ゲイン幅: -10dB to +36dB
THD+N: < 0.0025% (0dBuゲイン、20Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
ノイズ: -90dBu (20Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
入力インピーダンス: 10k Ω
- インストゥルメント入力性能
周波数特性: 20Hz - 20kHz +/- 0.1dB.
ゲイン幅: +13dB to +60dB
THD+N: 0.0025% (0dBuゲイン、20Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
ノイズ: -87dBu (20Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
- アナログ出力性能 (出力1~2・TRS端子)
バランス出力 x2
最大出力レベル (0dBFS): +9dBu
THD+N < 0.0025% (0dBFS入力 22Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
- アナログ出力性能 (出力1~4・RCA端子)
アンバランス出力
最大出力レベル (0dBFS): -3.5dBu
THD+N < 0.03% (0dBFS入力 22Hz/22kHz バンドパス・フィルター時)
- デジタル部
ダイナミック・レンジ: 105dB (A-負荷フィルター使用)
DACダイナミック・レンジ: 103dB (A-負荷フィルター使用)
ADC/DAC DNR: 114dB (A-負荷フィルター使用)
- アナログ入力部
ノイトリック製XLRコンボ入力端子
マイク/ライン自動切替
前面パネル「Inst」スイッチを使用してLine / Inst入力切り替え
前面パネル「pad」スイッチを使用して-10dB信号減退
48Vファンタム電源供給スイッチ (入力1~2共通)
- アナログ出力部
1/4 TRSジャック端子 x2 (出力1~2)
RCAフォノ端子 x4 (出力1~4)
メイン出力1~2用アナログ・レベル・コントロール
1/4 インチ TRS ジャック
ヘッドフォン・モニター出力 (前面「O/P 3-4」スイッチを使用して出力 3~4 と切り替え)
- その他の入出力
USB 1.1
5ピンDIN MIDI端子 x2 (入力 / 出力)
- 前面パネル・インジケータ
USBインジケータ
MIDIデータ受信インジケータ

48V スイッチおよび LED
楽器入力切り替えスイッチおよび LED
信号クリップインジケータ
PadスイッチおよびLED

● サイズ/重量

960g
幅215mm × 高45mm × 奥220mm

本書における著作・商標などに関して

本書の一部及び全ての内容は著作権上、(株) オールアクセスの承諾を得ずに無断で複写、複製する事は禁じられております。本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」およびそれに付随する「著作隣接権」などの諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

※「Saffire」またはその他の Focusrite 製品の商品名は全て Focusrite Audio Engineering Ltd 社の商標又は登録商標です。Mac OS、Windows、またはその他の製品及び会社名は、各社の商号、登録商標であり、各社の権利に属します。

Focusrite 製品の品質保証について

Focusrite 製品の品質保証規定については、弊社 WEB サイト (<http://allaccess.co.jp>) 内の「品質保証規定」をご参照ください。また、付属のハガキに記載されている内容をよくお読みになり、保証書を大切に保管してください。保証ハガキの提示がないユーザー様は、Focusrite 日本国内保証を適応することができません。予めご了承下さい。

修理が必要な場合

何らかの理由で、品質保証期間の有無にかかわらず、メーカー（この場合、輸入代理店（株）オールアクセス）で修理が必要であると判断された際は、購入された販売店に相談されるか弊社に直接ご連絡下さい。修理品の発送は、十分安全な梱包と保険をかけられることをお勧めします。発送の際は、運賃元払いにてお客様自身で御負担願います。保証期間内における修理に限り、修理完了後の返送費は、当社で負担させていただきます。

ドライバーに関するご注意

- OS のアップデートやセキュリティーのアップデートにより認識に問題が出る場合があります。その場合には最新の対応ドライバーをダウンロードして使用するか、アップデート以前のバージョンに戻して御使用ください。
- Focusrite 社ホームページで公開されたアップデート情報やβテスト版に関して、(株)ALL ACCESS のホームページ上でご案内を行っていないものに関しましてはサポート外となります。

付属ソフトウェアに関するご注意

- Focusrite VST/AU PLUGIN を除く付属のバンドル・ソフトウェア（DAW ソフトウェア等）に関しましては、コンピューターの仕様の差による動作およびアップデートの保証はございません。
- VST/AU ネイティブ非対応のシーケンサー・ソフトウェア上にて VST ラッパー等を使用して Focusrite VST/AU プラグインした場合、レイテンシーや不具合が発生する場合がございます。

※ 品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

ユーザー登録とカスタマー・サポート窓口

カスタマー・サポートや、製品のアップデート情報など、弊社が提供するサービスをご利用いただくために、ユーザー登録を行って下さい。ユーザー登録と、カスタマー・サポートの利用は、弊社 WEB サイト (<http://www.allaccess.co.jp>) 内の Saffire 6 USB 製品情報ページから行うことができます。

<http://www.allaccess.co.jp> (Focusrite Saffire 6 USB 製品情報ページ内へ)

※ ユーザー登録の際には「ログイン名とパスワード」が必要となります。詳しくは「getting Start Guide」を参照下さい。

製品サポートに関するお問い合わせは、弊社 WEB サイトの問い合わせフォームのほか、メールでも受け付けております。メールでお問い合わせの際は、ご使用の Saffire のシリアル番号を必ずご記入ください。また、お問い合わせの内容は、なるべく詳しく記載してください。

[カスタマー・サポート窓口] ffsupport@allaccess.co.jp

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00 (土日祭日・夏期・年末年始は休業)

※ カスタマー・サポートを受ける際には、ユーザー登録が必須となります。

※ お電話でのお問い合わせには対応できない場合がございます。御了承ください。

※ Xcite+Pack に含まれる他社製のバンドル・ソフトウェアに関するサポートは行っておりません。予めご了承下さい。

Focusrite 日本総代理店

株式会社 オールアクセス

本 社：〒490-1116 愛知県海部郡甚目寺町本郷三反地 21 番地

TEL：052-443-5537 FAX：052-443-7738

東京営業所：〒150-0044 東京都渋谷区円山町 26 番 8 号 吉田ビル 4F

TEL：03-5456-5032 FAX：03-5456-5252

<http://www.allaccess.co.jp>